

算数オンライン塾 9月4日の問題解説

(1)

①4つの三角形の面積は $6 \times 2 \div 2 \times 4 = 24$

真ん中の正方形は1辺が $6 - 2 = 4\text{cm}$ なので、面積は $4 \times 4 = 16\text{cm}^2$

合計 $24 + 16 = 40\text{cm}^2$

(答え) 40cm^2

②ABCDを通る円の半径×半径は正方形ABCDの $\frac{1}{2}$ 倍です。

$40 \div 2 \times 3.14 = 62.8$

(答え) 62.8cm^2

(2) 右図のように切り分けると、たて2cm、横8cmの三角形4つと1辺が6cmの正方形になります。

$2 \times 8 \div 2 \times 4 + 6 \times 6$

$= 32 + 36 = 68$

$68 \div 2 = 34$

$34 \times 3.14 = 106.76$

(答え) 106.76cm^2

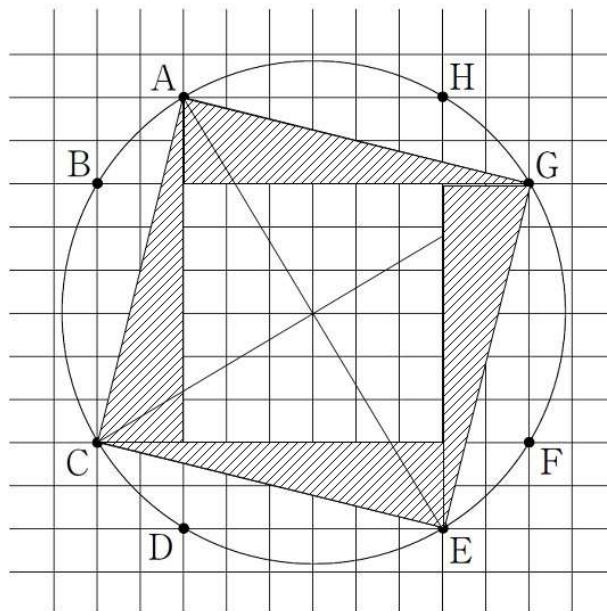


図3